



# 館長だより

山形県産業科学館

令和6年10月22日(火)

発行 館長 加藤智一

## 一陽来復

直訳で解すならば、「冬が終わり春がくること」を意味する言葉です。由来は古代中国の書物「易経」から来ているようですが、冬が去って春が来るとはつまり新年を迎えるということ。悪いことが続いたあとに、ようやく物事が良い方に好転することのたとえとなっている言葉です。どんな使い方をするかというと、「寒い冬が終わったので、一陽来復の春が来るでしょう。」とか、「最近仕事もプライベートもうまくいかないけれど、一陽来復を願って頑張ります。」とか。また、縁起を担いで「一陽来福」と書くこともあるそうで、ご商売をされている方とか神社などでは、こちらの方を好んで使われるのではないのでしょうか。類義語には、

「苦尽甘来」(くじんかんらい)

「起死回生」(きしかいせい)

「捲土重来」(けんどちようらい)

等が知られています。しかし、微妙にその意味は異なります。「苦尽甘来」とは苦しい状況が過ぎて楽になる。という意味がありますので、例えば、「苦しい下積み時代を経験したおかげで、苦尽甘来の毎を送っている。」とか「毎日笑顔で、元気に頑張っている。いづれ苦尽甘来となる日も来ます。」というように使われています。また、「起死回生」には、危機から脱して立ち直るという意味がありますので、「営業成績が悪いので、起死回生の策を練る。」とか「起



死回生のチャンス到来。」といった使い方をします。

「捲土重来」には、失敗や過ちによって勢いを失った者が、再び巻き返すことを意味する言葉ですので、例えば選挙運動などで、前回の選挙で負けた立候補者が「捲土重来を目指す」と演説することもあるでしょう。今月27日投票日となる衆議院議員総選挙、そして、今月31日告示、来月17日投票の某県知事選挙では、はたして某政党由来の候補者の口からは「捲土重来」という言葉が聞かれるのでしょうか。もし、「苦尽甘来」とか、「起死回生」という言葉を使ったら「反省していない」、「私は悪くない」というメッセージかもしれませんよ。こんなところに注目して、選挙運動を観察してみるのも良いのではないのでしょうか。え！それ以前に言葉を知らない？

因みに、山形県産業科学館のある「霞城セントラル」内には、期日前投票会場はございませんが、お隣「エスパル山形4F」には 特設会場がございます。期間中市内各投票所に設置している投票所看板の画像をご提示いただいたお客さまには、エスパル山形の対象店において、様々な特典が利用いただけるので、是非ご活用ください。

※「エスパル山形 期日前投票所」以外の看板画像も対象です。

※原則、期間中お一人さま一店舗一回限りの参加となっております。

